

2023（令和5）年度事業報告

社会福祉法人 シャローム福祉会

指定就労継続支援B型事業所 シャローム

共同生活援助事業所 グループホーム・シャローム

重点課題

- ① 新しい利用者と職員の確保
- ② 役員の改選
- ③ 地域との連携
- ④ 情報発信
- ⑤ 業務継続計画（BCP）の策定
- ⑥ 業務の効率化

法人の活動

1. 概要

○役員の改選

理事1名が交代し、6月の第54回評議員会で承認されました。

○地域との連携

- ・長田区社会福祉法人連絡協議会（ほっとかへんネット長田）に正式加入しました。
- ・地域貢献として、10月から新湊川沿い清掃活動を行っています。

○情報発信

- ・「シャロームだより」を2024年1月に発行しました。
- ・週1回程度のブログの更新を行いました。

○業務継続計画（BCP）の策定

共同生活援助（以下、GHとします）と就労継続支援B型（以下、就Bとします）の各管理者とサービス管理責任者が主導してBCPを策定しました。

○業務の効率化

- ・給与計算ソフトを6月に導入しました。
- ・就BとGHの業務日誌、支援記録等の様式を改良しました。
- ・業務の効率化をはかり、GHと就Bの連携を強めるために、相互に情報提供しやすいようにICT化を進めたいという意見もありますが、記録は手書きのままが良いという意見が

強く、現状維持の方向で進むと思われます。

○自動車の買い替え

福祉車両への買い替えを検討してきました。車種が絞られ、公益財団法人JKA様の補助事業に応募し、無事採択されました。2024年度に車両を購入予定です。

2. 理事会の開催

	通算	日付	議案
1	第73回	5月30日	令和4年度事業報告・計算書類の承認、理事・監事候補者の選定等。
2	第74回	6月8日	書面決議:定款変更(基本財産の追加)等。
3	第75回	6月27日	理事長の選定、経理規程の改訂等。
4	第76回	7月28日	書面決議:シャロームの管理者の任命。
5	第77回	11月16日	令和5年度上半期事業報告・中間決算・第1次補正予算の承認、給与規程の改訂等。
6	第78回	3月4日	令和5年度第2次補正予算の承認、令和6年度事業計画・当初予算の承認等。

3. 評議員会の開催

	通算	日付	議案
1	第54回	6月27日	令和4(2022)年度事業報告・計算書類の承認、定款変更の承認、理事・監事の選任。
2	第55回	3月19日	令和5年度補正予算の承認、令和6年度事業計画・当初予算の承認。

4. 監事監査の実施

2024年5月23日に2023年度の事業について監事による監査が行われました。

5. 地域貢献

長田区社会福祉法人連絡協議会(ほっとかへんネット長田)に正式加入し、10月に三ツ星ベルト本社で開催されたイベントのスタッフとして、理事2名が参加しました。

就労継続支援B型事業所・シャロームの活動

1. 概要

○新しい利用者と職員の確保

- ・2022年11月から2023年7月末まで、三河理事長が管理者を務めました。その間に管理者またはサービス管理責任者を探しましたが見つからず、管理者は常勤の職業指導員が兼務することになり、サービス管理責任者はそのままGHとの兼務を続けます。
- ・2月から月2回来ていたボランティアが9月から2人目の生活支援員として週2回8.5時間勤務しています。業務としては、調理実習や自主製品製作等を担当しています。
- ・就Bの利用者について、新規獲得はできませんでした。
- ・新しい利用者確保については、長田区自立支援協議会・就労系事業所連絡会でも加盟事業所共通の課題として対策を協議しており、2024年2月に、障害児・者を取りまく人や関係機関に事業所を知ってもらうための「事業所フェア」が開催されました。シャロームもこの企画に参加していましたが、コロナウィルス感染者が出たため、パンフレットのみでの参加となりました。
- ・利用者1名が他市の共同生活援助事業所に入所し、9月末で契約解除しましたが、2月から復帰しています。

○作業工賃の向上

- ・自主製品に新商品を追加しました。販路拡大を目指し、外部のイベントに出店しました。
- ・10月からのインボイス制度導入の前に、下請作業をいただいていた個人事業主が廃業し、作業が一つなくなりました。

○感染症対策

- ・職員の週2回のコロナウィルスの抗原検査（2023年度で終了）、室内の換気、利用者・職員のマスクの着用、手指のこまめな洗浄と消毒、共用部分の消毒、パーティションの設置等、他の感染症への対応を含めて屋内での感染症対策はこれまでどおり継続していました。
- ・これらの感染症対策にもかかわらず、10月末に利用者3名・職員3名がインフルエンザA型に感染しました。2月には職員1名・利用者2名がコロナウィルスに感染し、3月は、下痢・嘔吐の症状の利用者1名（その後、脱水症状とコロナ感染で入院・隔離）と、その対応をした職員1名と周りにいた利用者2名が感染しました。3月の感染経路は明らかでしたが、その他は、はっきりしていません。特に2月は無症状の感染者がいたため、利用者の抗原検査をしたり、一部は自宅待機するなど、緊張感が高い状況でした。
- ・幸い、3回ともクラスターには至らず、継続して開所し、利用者支援にあたることができ

ました。

- ・外出については、コロナ感染者が増えた夏と、事業所内で感染者が出た2・3月を除いて、あまり人出の多くない目的地を選び、時間帯や経路と希望者を勘案して月1回、少人数で実施しました。

○利用者の高齢化

身体的な介助のほか、認知症の疑いがある知的障害者への支援について、研修を実施しました。

2. 利用者

- ・定員：15名 現員：13名（3月末日）
- ・うち1名は週2日の利用。病気療養中の1名には在宅支援を行っています。
- ・利用率と稼働率

	延べ利用者数	在籍利用率	平均利用者数	稼働率
2021年度	2780名	86.6%	11.3名	75.1%
2022年度	2787名	85.4%	11.1名	74.0%
2023年度	2647名	85.3%	10.8名	72.0%

- ・利用者の重度化と高齢化

障害支援区分			
	2024年3月末	2023年3月末	2022年3月末
6	3名	2名	1名
5	4名	3名	3名
4	4名	5名	4名
3	2名	1名	3名
—		2名	2名

年齢(2024年3月末)	
70代	1名
60代	3名
50代	3名
40代	0名
30代	5名
20代	1名
平均年齢46.9歳	

3. 職員体制

	職種	人数
常勤	管理者および職業指導員	1名
	サービス管理責任者(グループホームと兼務)	1名
非常勤	生活支援員	2名(常勤換算0.6)

4. 開所日・開所時間

サービス提供日	原則、祝日と長期休暇を除いた月曜から金曜
サービス提供時間	午前9時30分から午後4時まで (ただし、第2水曜は午後2時、第4水曜は午後1時まで)
長期休暇	夏季 8月11日～15日 冬季 12月29日～1月3日
開所した休日	9月18日、11月23日、2月12日、3月20日

5. 日課

9:00～プログラムの確認、記録の記入、 体温と血圧の測定、作業の準備	13:00～作業
9:30～作業	14:30～体操
11:50～昼食、昼休み	15:00～お茶・記録
	15:25～そうじ・着がえ・終わりの会
	16:00 解散

※10:30と14:00に水分補給

6. 作業内容

- ・自主製品の制作：手漉き紙、ビーズ小物
- ・下請け作業：印刷・製本・発送作業、三角くじ

7. 工賃支給

- ・平均利用者数による平均工賃は3,098円。
- ・工賃向上のための課題の一つが自主製品の販路拡大です。コロナ禍も落ち着いたため、外部のイベントでの販売を再開しました。利用者は同行せず、職員のみですが、10月に「こうべ福祉・健康フェア」（しあわせの村）、11月に「煉瓦倉庫ユニバーサルマルシェ」（ハーバーランド）の2回参加しました。

8. その他の活動内容

調理実習

- ・毎週木曜日。7・8・9月を除き、月2回、利用者家族からの食事提供がありました。

散歩・体操

- ・毎日30分間の体操を実施。全員参加ではなく、医師からの指導を受けている利用者を中心に取り組んでいます。

レクリエーション

	内容	参加者	備考
6月13日(火)	まちあるき① 兵庫津ミュージアム	4名	職員2名、ボランティア1名。地下鉄とバスで移動
8月24日(木)	夏祭り(射的・輪投げ、屋台メニュー)	10名	
9月18日(月・祝)	餃子パーティ	9名	
10月24日(火)	まちあるき② 湊山水族館	6名	職員2名とバスで移動
11月23日(木・祝)	トールペイント体験	8名	
11月30日(木)	まちあるき③ ドーナツ店と鉄人広場	6名	職員2名、地下鉄で移動
12月21日(木)	まちあるき④ 神戸市役所展望ロビー	6名	職員2名、地下鉄で移動
1月4日(木)	新年会、書き初め	9名	
1月10日(水)	まちあるき⑤ 十日えびす	4名	職員2名
2月12日(月・祝)	そばめしパーティ・歌と体操	6名	GHリビングで。コンサートへ出かけるのは中止。
3月20日(水・祝)	餅パーティ・懐メロで体操	5名	

健康管理

- ・毎朝、検温と血圧測定を行っています。
- ・歯科を受診できない利用者に対して、月1回訪問歯科診療の場を提供しています。
- ・自力で移動できない、意思疎通が難しいなど、支援が必要な利用者に対し、通院の同行（歯科、皮膚科、眼科、脳神経外科等）や、受診・健診・予防接種の予約等の支援をしました。
- ・希望者のみで、3月に健康診断を受診しました。
- ・2022年度に引き続き、3月に専門医による足の健康チェックを受けました。

9. 地域交流・地域貢献

- ・コロナ禍で中止していた地域の清掃活動を、場所を新湊川沿いの緑道に固定して、10月から再開しました。コロナ感染者が出た2月を除いて、月1回実施しました。回数を重ねることで利用者の顔も覚えてもらえ、地域の方々との交流を持てる機会となっています。

日	名称	内容
6月4日	長田区一斉クリーン作戦	年2回行う、自治会ごとの地域の清掃活動に職員1名が参加。
8月9日	紙漉き体験教室	参加者が集まらず中止。
7月31日 8月2日、21日	夏のボランティア体験	主催:長田ボランティアセンター 高校生3名を受け入れる。
9月1日～ 9月14日	保育実習の学生の受入	短期大学の学生の施設実習。
10月19日	新湊川沿い清掃活動	
11月16日	新湊川沿い清掃活動	
12月3日	長田区一斉クリーン作戦	12/1に周辺歩道の草抜き。当日はGH職員が参加。
12月7日	新湊川沿い清掃活動	
1月30日	新湊川沿い清掃活動	
3月22日	足の健康チェック	下肢静脈瘤の専門医による健康チェック
3月27日	新湊川沿い清掃活動	

10. 防災・防犯

日	訓練の種類	内容	参加者
6月2日	情報収集	増水を予測するための河川の水位や上流の降水量チェックの練習。	職員 2名
9月4日	消火訓練	初期消火の注意点と水消火器の使用法について動画を見た後、実際に使って覚える。	11名
12月25日	避難訓練	火災からの避難では、いち早く屋外に出ることを確認。	11名
1月17日	シェイクアウト・ 避難訓練	地震に対する身を守る動作の確認と避難訓練。	9名
3月26日	情報収集	降水量や河川の水位等、必要な情報にスムーズにアクセスできるか確認。	職員 3名
3月27日	避難訓練	大雨による河川氾濫を想定。	8名

- ・1000年に一度の大雨（想定最大規模降雨）による浸水想定地域にあるため、避難確保計画を8月に作成し、計画にもとづき、3月に避難訓練を実施。神戸市危機管理室に報告しました。

1 1. 職員研修

	テーマ	主催・講師	場所等	参加者
6月	感染症対策基礎講座	主催:神戸市保健所 講師:神戸市立医療センター中央市民病院 感染症管理室 小倉明子氏	オンライン	3名
7月	どうするBCP?! 自然災害編	主催:長田区災害時の医療介護提供協議会 講師:明石恵典法律事務所弁護士 明石恵典氏	オンライン	2名
7月	なぜ義務化!? みんなで考えるBCP ー必要性と心構え編	主催:㈱リーオンミー 講師:㈱福祉防災コミュニティ協会代表 理事 鍵屋一氏	オンライン	4名
7月	感染症対策の実際について	感染症訪問指導員	シャローム	2名
7月	トールペイント教室		GH	4名
8月	令和5年度 組織マネジメント基礎講座	講師:兵庫県立大学大学院社会科学研 究科教授 當間克維氏	オンライン	1名
9月	どうするBCP?! 感染症編	主催:長田区災害時の医療介護提供協議会 講師:明石恵典法律事務所弁護士 明石恵典氏	オンライン	2名
9月	障害学会第20回大会・基調講演:障 害学会20周年記念対談ー前に進む こと、置きざりにしないこと シンポジウム:障害学の回顧と展望 社会モデルの現在	主催:障害学会 登壇者:石川准、熊谷晋一郎、星加良司、飯 野由里子、川島聡、辰巳一輝	オンライン	1名
9月	虐待防止の“義務化”・「身体拘束」の 適正化とは	主催:㈱リーオンミー 講師:元厚生労働省 虐待防止専門官 片 桐公彦氏	オンライン	3名
10月	近畿社会就労センター協議会総合研 究大会	主催:近畿社会就労センター協議会・京都 府社会就労センター協議会	京都テルサ	1名
11月	ノロウイルス食中毒予防研修	主催:神戸市食品衛生協会	オンライン	1名
12月	防犯講演会	主催:長田区自立支援協議会	長田区役所	1名
12月	認知症又は認知症の疑いのある知的 障害者への支援と課題	国立のぞみの園セミナー 主催:国立のぞみの園	オンライン	2名
1月	令和5年度社会福祉法人会計実務セ ミナー	主催:福祉医療機構 講師:宮内真木子氏	シャローム	1名

1 2. 設備・備品

- ・令和4年度「NHK歳末たすけあい募金」2次配分の支援を受けて、紙漉きに使う攪拌機を購入しました。

1 3. その他

会計ソフトと同じメーカーの給与ソフトでの給与計算が6月から始まりました。

共同生活援助事業所・グループホーム・シャロームの活動

1. 概要

○実地指導

- ・10月12日に神戸市監査指導部の実地指導を受けました。
- ・改善を要する事項として、短期入所の重要事項説明書と運営規程の修正と追記を求められ、改善報告書を12月に提出しました。
- ・実地指導の準備中に、過去の自立支援給付費の請求額に誤りを見つけ、実地指導当日に指示を仰ぎ、過誤申立の手続きをとり、修正しました。

○グループホームと短期入所の稼働率の向上

- ・グループホームの稼働率は上昇傾向にあります。
隔週で土曜・日曜を開所しており、週末に帰省しても、土日のどちらかをグループホームで過ごす入居者が増えてきたために、グループホームの稼働率は少し上がりました。ただ、3月に新型コロナウイルスの感染者が2名出た時に、1週間、3名の入居者が自宅待機したため、利用率が下がりました。
- ・2023年度の開所日数に対する利用率は91.4%、稼働率は81.2%です。

	開所日数に対する 利用率	稼働率
2022年 4月～2022年9月	91.3%	76.8%
2022年10月～2023年3月	91.6%	81.2%
2023年 4月～2023年9月	94.2%	83.4%
2023年10月～2024年3月	88.6%	78.9%

- ・短期入所については、年間延べ24名の利用で、全員シャロームの利用者です。グループホームの入居者の1名が、安全のための見守りが現在も必要で、短期入所を受け入れる余裕がなく、積極的に広報していないのが現状です。

○食費の精算

- ・入居者から受け取っている食材費を精算し、余った金額を返金しました。
- ・食材費より光熱水費の方が不足しがちなので、利用料の総額は変えず、食材費と光熱水費の割合を変更しました。

2. 入居者数

- ・ 共同生活援助：現員5名（定員5名）
- ・ 短期入所：定員1名

3. 職員体制

- ・ 常勤：管理者および生活支援員 1名
- ・ 非常勤：サービス管理責任者（就Bと兼務）1名
- 世話人 8名（他に1名が休職中）
- 生活支援員 1名
- ・ 5月に夕方から夜にかけての男性職員1名と、8月に女性利用者の介助を担当する女性職員1名、計2名を新しく採用しました。
- ・ 8月から男性職員1名が休職し、12月末に男性職員1名が退職しました。

4. 開所日・開所時間

- ・ 隔週で土日は閉所し、それ以外の日は開所しています。
- 開所時間は、平日は0時から9時の9時間と、16時から0時までの8時間。
土日は24時間開所しています。

5. 防災・防犯

- ・ 5月：大雨による河川増水を想定して避難経路を確認しました。
- ・ 7月：防火管理者を常勤である事業所の管理者に変更しました。
- ・ 7月：火災報知器等の設備の点検がありました。
- ・ 7月：リビングの窓の前に人感センサーを設置しました。
- ・ 8月：障害区分4以上の入居者が8割を超えるため（防火対象物として消防法施行令別表第一の6項ハから6項ロに変更）、火災通報装置と自動火災報知設備の感知器を連動させました。
- ・ 9月：自室のベランダから非常階段を利用して、建物の外に避難する訓練をしました。
- ・ 9月：長田消防署から訓練用の消火器を借りて、全職員が消火訓練をしました。
- ・ 9月：停電時の備えとして、懐中電灯、非常灯を追加で購入しました。
- ・ 1月：夜間の地震発生を想定して、暗闇の中で避難訓練をしました。

- ・ 1月：火災報知機等の設備を点検しました。
- ・ 3月：防災用の備蓄食料・飲料品を追加しました。

6. 職員研修・職員会議

- ・ 6月から7月にかけて、複数のグループで全職員と対面で虐待防止研修をしました。
- ・ 11月に、身体拘束適正化を含む虐待防止研修を少人数のグループワークの形で実施しました。

7. その他

- ・ 安全のために見守りが必要な入居者は変わらず目を離せない状況が続いています。
週2日のリハビリと事業所内での運動を続けていますが改善はしておらず、少しずつではありますが状態が悪くなっています。